
四季物語

愛破 遊人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

四季物語

【Nコード】

N2706N

【作者名】

愛破 遊人

【あらすじ】

最初で最後の学園生活。

全て楽しく、そして何事もなく過ごせると思っていた。しかし、いくつもの壁にぶち当たり挫折そうになる。

憧れの先輩を追いかけてきた、桜木 遥。

兄を憎みながらも兄を慕い続けた、海道 奈津。

奪う魔女と蔑まされても一つの光を信じた、秋川 紅葉。

本当の自分自身を見て欲しいと願い続けた、雪村 冬樹。

今、少年と少女の短い学園生活が始まる。

早過ぎたお終い（前書き）

一話完結で投下ではなく、ちょこちょこ投下していきますので。
また今回が初作品となり、至らぬ部分や不適切な描写等があると思いますが、応援の程宜しくお願いします。

早過ぎたお終い

ジリリ、ジリリ。

(んー???目覚ましが鳴ってる。もう、朝かな?????)

『ハルウー？ハル、起きなさい??』

お母さんの怒鳴り声が聞こえる。

(もう少し寝させ、て???)

ドタドタ、ドタドタ。

ドアが開くと同時にお母さんが声を荒げた。

『ハル、今何時だと思ってるの？』

今日は始業式でしょ？しょっぱなから遅刻する気?』

ハッ?そうだ、今日は始業式だ。

『やだ、まずいよ?もう、お母さん。

もっと早く起こしにきてよ』

お母さんはため息をついて

『何言ってるの。昨日、自分で起きるって張り切ってたじゃない。』

『そうだけど起きれないの分かってたら、もっと早く起こしに来てくれても???え?何、その格好?まさかだけど、始業式に来るの?仕事は?』

『なーに、言ってるの。親が子どもの始業式に出るのは普通でしょ?仕事はお休みもらったから平気よ。』

お母さんは鼻をふんつと鳴らし、胸をドンつと叩き部屋を出た。

お母さんの背中を向けて、言葉にせず告げた。

『ありがとう』と。

私の家にはお父さんが居ない。

お母さんはお父さんが亡くなってから、女手一つで私と妹の絢香を育ててくれた。

だからこそ、始業式だけでも来てくれるがすごく嬉しい。反面恥ずかしいけど。。。

さて、着替えますか。

制服に腕を通してみる。うん、やっぱりこの制服は可愛い。

ここまで来るのは本当に地獄だったなあ。

運動は得意でも、勉強は可もなく不可もなく程度だから一年間は勉強に費やした。

うう、思い出すだけでも悪寒が。。。

ああ、色々思い出してきた。

そつだ、あの日は意味不明な感情になったなあ。

既に憂鬱になってきたけど。。。

- 合否発表当日 -

私の学校には錦織学園に受験した人は居ない。

いや、居てもそこまで仲良くないから話しも出来ないし。

（はあ、もう。朋子はもっと上の私立校だし、ちいは錦織は無理って言うてたし??? お、錦織。やっぱ、でかい学校だなあ。）

あつた、あつた。

ここって凄いとこだよね。数字一つで落胆する姿や歓喜する姿。??? あれ? 怒ってる?

男の子が受験番号の紙を握り締めてる。

その男の子は紙を叩きつけ、舌打ちをして学園を去った。

（落ちたのが、そんなに悔しかったのかな？あれ、あの子どもで見たんだけど。。。あれ？初めてじゃない感じ。）

そんなことよりも、私の番号は？

えーっと。。。

あった？やったぞ、私。さすが桜木 遥？

クルクルと三回転程して、彼の紙が気になった。

あそこまで怒るのはなんだろう？

そして、彼の紙にある受験番号を見た。

それは最優秀成績として高々とその番号は中心にあったのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2706n/>

四季物語

2010年10月10日05時38分発行